

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 九州財務局長

【提出日】 平成25年2月13日

【四半期会計期間】 第57期第3四半期(自 平成24年10月1日 至 平成24年12月31日)

【会社名】 株式会社M i s u m i

【英訳名】 MISUMI CO., LTD.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 岡 恒憲

【本店の所在の場所】 鹿児島県鹿児島市卸本町7番地20

【電話番号】 099(260)2200(代表)

【事務連絡者氏名】 サポート本部長兼経理部長 末吉 茂樹

【最寄りの連絡場所】 鹿児島県鹿児島市卸本町7番地20

【電話番号】 099(260)2200(代表)

【事務連絡者氏名】 サポート本部長兼経理部長 末吉 茂樹

【縦覧に供する場所】 証券会員制法人福岡証券取引所
(福岡市中央区天神二丁目14番2号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

| 回次 | | 第56期 第3四半期 連結累計期間 | | 第57期 第3四半期 連結累計期間 | | 第56期 | |
|------------------------------|------|-------------------------|--------------------------|-------------------------|--------------------------|--------|-------------------------|
| | | 自 至 | 平成23年4月1日 平成23年12月31日 | 自 至 | 平成24年4月1日 平成24年12月31日 | 自 至 | 平成23年4月1日 平成24年3月31日 |
| 売上高 | (千円) | | 43,150,672 | | 44,270,858 | | 58,814,591 |
| 経常利益 | (千円) | | 619,832 | | 934,887 | | 1,040,293 |
| 四半期(当期)純利益 | (千円) | | 280,748 | | 568,466 | | 500,235 |
| 四半期包括利益又は包括利益 | (千円) | | 219,333 | | 588,924 | | 528,805 |
| 純資産額 | (千円) | | 12,302,855 | | 13,015,911 | | 12,612,327 |
| 総資産額 | (千円) | | 35,691,582 | | 34,767,908 | | 35,387,231 |
| 1株当たり四半期(当期) 純利益金額 | (円) | | 46.25 | | 93.65 | | 82.41 |
| 潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額 | (円) | | | | | | |
| 自己資本比率 | (%) | | 34.01 | | 36.92 | | 35.16 |

| 回次 | | 第56期 第3四半期 連結会計期間 | | 第57期 第3四半期 連結会計期間 | |
|---------------|-----|-------------------------|---------------------------|-------------------------|---------------------------|
| | | 自 至 | 平成23年10月1日 平成23年12月31日 | 自 至 | 平成24年10月1日 平成24年12月31日 |
| 1株当たり四半期純利益金額 | (円) | | 19.38 | | 28.10 |

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営んでいる事業の内容に重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

なお、重要事象等は存在していません。

2 【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 業績の状況

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、東日本大震災の復興需要等を背景に緩やかな回復がみられましたが、欧州債務問題や米国の財政問題、中国の経済成長鈍化等により、先行き不透明な状況が続いております。

このような状況の中で当社グループは、「CHANGE & DASH～新しい価値観で、速やかに行動する～」のスローガンのもと、従業員の意識改革を促し、販売力の強化及び事業部門の整理・再構築による事業全体のレベルアップを図り、競争力の強化に努めてまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は442億70百万円（前年同四半期比2.6%増）となり、営業費用が前年同四半期に比べ減少したことから、経常利益は9億34百万円（前年同四半期比50.8%増）、四半期純利益は5億68百万円（前年同四半期比102.5%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

1 エネルギー

「エネルギー」セグメントにつきましては、石油部門において、ENEOSカードの利用促進やTカードのポイントイベントを実施するとともに、外食部門、カルチャー部門との合同企画によるキャンペーンを実施するなど、燃料油の増販に努めました。

ガス部門においては、積極的な営業活動により、新規顧客の開拓や販売の増加に努めました。

以上の結果、売上高は345億64百万円（前年同四半期比4.3%増）となり、営業利益は7億37百万円（前年同四半期比39.1%増）を計上致しました。

2 フード&ビバレッジ

「フード&ビバレッジ」セグメントにつきましては、外食部門において、KFC店舗のイメージ向上を目的に2店舗を改装するとともに、クラッシューズ（飲む冷たいスナック）を5店舗に導入致しました。また、5月にバイキングスタイルの巳八レム鹿児島店をオープンし、売上獲得に努めました。

ミネラルウォーター部門においては、宅配の新規契約の獲得と販売数量の確保に努めました。

以上の結果、売上高は42億4百万円（前年同四半期比4.2%減）となり、営業利益は2億74百万円（前年同四半期比30.9%減）を計上致しました。

3 ライフスタイル

「ライフスタイル」セグメントにつきましては、カルチャー部門において、カルチャー店舗のイメージと利便性の向上を目的に1店舗を改装するとともに、提案商品の訴求力アップのためにシニア層向けの売場を拡充するなど、幅広い世代の集客に努めました。また、オブシアミスミ（複合商業施設）において、駐車場やエスカレーターを増設し、設備面の見直しを図るとともに、プレミアム付き館内共通商品券を販売するなど、賑わいある施設づくりに努めました。

以上の結果、売上高は55億1百万円（前年同四半期比2.2%減）となり、営業利益は1億80百万円（前年同四半期比34.0%増）を計上致しました。

（上記金額には、消費税等は含まれておりません。）

(2) 財政状態の分析

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて6億19百万円減少し、347億67百万円となりました。これは主に、投資その他の資産が減少したこと等によるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べて10億22百万円減少し、217億51百万円となりました。これは主に、短期借入金が増加したこと等によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べて4億3百万円増加し、130億15百万円となりました。これは主に、利益剰余金が増加したこと等によるものであります。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

| 種類 | 発行可能株式総数(株) |
|------|-------------|
| 普通株式 | 12,000,000 |
| 計 | 12,000,000 |

【発行済株式】

| 種類 | 第3四半期会計期間 末現在発行数(株) (平成24年12月31日) | 提出日現在 発行 数(株) (平成25年2月13日) | 上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名 | 内容 |
|------|---|-------------------------------------|------------------------------------|-------------------|
| 普通株式 | 6,100,503 | 同左 | 証券会員制法人 福 岡証券取引所 | 単元株式数は、100株であります。 |
| 計 | 6,100,503 | 同左 | | |

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

| 年月日 | 発行済株式 総数増減数 (株) | 発行済株式 総数残高 (株) | 資本金増減額 (千円) | 資本金残高 (千円) | 資本準備金 増減額 (千円) | 資本準備金 残高 (千円) |
|-------------|-----------------------|----------------------|----------------|---------------|----------------------|---------------------|
| 平成24年12月31日 | | 6,100,503 | | 1,690,899 | | 1,646,341 |

(6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(平成24年9月30日)に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成24年9月30日現在

| 区分 | 株式数(株) | 議決権の数(個) | 内容 |
|----------------|-------------------------|----------|----|
| 無議決権株式 | | | |
| 議決権制限株式(自己株式等) | | | |
| 議決権制限株式(その他) | | | |
| 完全議決権株式(自己株式等) | (自己保有株式) 普通株式 30,600 | | |
| 完全議決権株式(その他) | 普通株式 6,069,400 | 60,694 | |
| 単元未満株式 | 普通株式 503 | | |
| 発行済株式総数 | 6,100,503 | | |
| 総株主の議決権 | | 60,694 | |

(注) 「単元未満株式」欄の普通株式には、当社所有の自己株式69株が含まれております。

【自己株式等】

平成24年9月30日現在

| 所有者の氏名 又は名称 | 所有者の住所 | 自己名義 所有株式数 (株) | 他人名義 所有株式数 (株) | 所有株式数 の合計 (株) | 発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%) |
|--------------------------|--------------|----------------------|----------------------|---------------------|------------------------------------|
| (自己保有株式) 株M i s u m i | 鹿児島市卸本町7番地20 | 30,600 | | 30,600 | 0.5 |
| 計 | | 30,600 | | 30,600 | 0.5 |

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4 【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間(平成24年10月1日から平成24年12月31日まで)及び第3四半期連結累計期間(平成24年4月1日から平成24年12月31日まで)に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成24年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 3,694,753 | 4,126,157 |
| 受取手形及び売掛金 | 1 5,852,245 | 1 6,358,113 |
| 有価証券 | 3,719 | 3,719 |
| 商品及び製品 | 2,765,193 | 2,765,961 |
| その他 | 813,933 | 754,805 |
| 貸倒引当金 | 368,493 | 375,091 |
| 流動資産合計 | 12,761,351 | 13,633,665 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物(純額) | 4,328,518 | 4,231,080 |
| 土地 | 11,791,332 | 12,375,795 |
| その他(純額) | 997,299 | 883,541 |
| 有形固定資産合計 | 17,117,151 | 17,490,417 |
| 無形固定資産 | 433,396 | 353,623 |
| 投資その他の資産 | | |
| その他 | 5,418,167 | 3,516,335 |
| 貸倒引当金 | 342,835 | 226,133 |
| 投資その他の資産合計 | 5,075,331 | 3,290,201 |
| 固定資産合計 | 22,625,879 | 21,134,242 |
| 資産合計 | 35,387,231 | 34,767,908 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 1,861,319 | 2,303,148 |
| 短期借入金 | 9,550,000 | 8,040,000 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 1,776,682 | 1,704,182 |
| 未払法人税等 | 366,562 | 107,512 |
| 賞与引当金 | 308,952 | 204,742 |
| その他 | 2,065,962 | 2,400,060 |
| 流動負債合計 | 15,929,478 | 14,759,647 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 5,043,059 | 5,187,423 |
| 退職給付引当金 | 150,536 | 149,966 |
| 役員退職慰労引当金 | 730,700 | 739,200 |
| その他 | 921,129 | 915,759 |
| 固定負債合計 | 6,845,425 | 6,992,349 |
| 負債合計 | 22,774,903 | 21,751,996 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成24年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------------|
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 1,690,899 | 1,690,899 |
| 資本剰余金 | 1,646,341 | 1,646,341 |
| 利益剰余金 | 9,075,896 | 9,462,268 |
| 自己株式 | 43,403 | 43,403 |
| 株主資本合計 | 12,369,734 | 12,756,106 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 73,212 | 81,230 |
| その他の包括利益累計額合計 | 73,212 | 81,230 |
| 少数株主持分 | 169,379 | 178,574 |
| 純資産合計 | 12,612,327 | 13,015,911 |
| 負債純資産合計 | 35,387,231 | 34,767,908 |

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日) |
|-----------------|--|--|
| 売上高 | 43,150,672 | 44,270,858 |
| 売上原価 | 34,202,310 | 35,337,461 |
| 売上総利益 | 8,948,361 | 8,933,397 |
| 販売費及び一般管理費 | 8,479,631 | 8,236,914 |
| 営業利益 | 468,730 | 696,482 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 15,347 | 10,533 |
| 受取配当金 | 43,574 | 34,319 |
| 受取賃貸料 | 110,481 | 112,716 |
| 貸倒引当金戻入額 | - | 106,797 |
| その他 | 186,374 | 161,302 |
| 営業外収益合計 | 355,778 | 425,668 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 137,228 | 122,235 |
| 賃貸費用 | 51,624 | 50,365 |
| その他 | 15,822 | 14,662 |
| 営業外費用合計 | 204,676 | 187,263 |
| 経常利益 | 619,832 | 934,887 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 4,579 | 2,060 |
| 受取保険金 | 600 | - |
| 収用補償金 | 523 | - |
| 特別利益合計 | 5,703 | 2,060 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産売却損 | - | 4 |
| 固定資産除却損 | 22,866 | - |
| 災害による損失 | 397 | - |
| 投資有価証券売却損 | 325 | - |
| 特別損失合計 | 23,588 | 4 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 601,947 | 936,943 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 243,346 | 292,882 |
| 法人税等調整額 | 66,169 | 63,153 |
| 法人税等合計 | 309,515 | 356,036 |
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 292,431 | 580,907 |
| 少数株主利益 | 11,683 | 12,440 |
| 四半期純利益 | 280,748 | 568,466 |

【四半期連結包括利益計算書】
 【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日) |
|-----------------|--|--|
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 292,431 | 580,907 |
| その他の包括利益 | | |
| 其他有価証券評価差額金 | 73,098 | 8,017 |
| その他の包括利益合計 | 73,098 | 8,017 |
| 四半期包括利益 | 219,333 | 588,924 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 207,650 | 576,484 |
| 少数株主に係る四半期包括利益 | 11,683 | 12,440 |

【会計方針の変更等】

| 当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日) |
|--|
| (会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更) 当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。 なお、この変更に伴う影響は軽微であります。 |

【四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理】

記載すべき事項はありません。

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

1 四半期連結会計期間末日満期手形

期末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理しております。

なお、当第3四半期連結会計期間末日が金融機関の休日であったため、次の四半期連結会計期間末日満期手形が、四半期連結会計期間末残高に含まれております。

| | 前連結会計年度 (平成24年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日) |
|------|-------------------------|-------------------------------|
| 受取手形 | 501,778千円 | 468,378千円 |

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

| | 前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日) |
|---------|--|--|
| 減価償却費 | 601,102千円 | 534,778千円 |
| のれんの償却額 | 67,603 " | 63,681 " |

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)

1. 配当金支払額

| 決議 | 株式の種類 | 配当金の総額 (千円) | 1株当たり 配当額(円) | 基準日 | 効力発生日 | 配当の原資 |
|----------------------|-------|----------------|-----------------|------------|------------|-------|
| 平成23年6月24日 定時株主総会 | 普通株式 | 91,047 | 15 | 平成23年3月31日 | 平成23年6月27日 | 利益剰余金 |
| 平成23年11月8日 取締役会 | 普通株式 | 91,047 | 15 | 平成23年9月30日 | 平成23年12月5日 | 利益剰余金 |

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

1. 配当金支払額

| 決議 | 株式の種類 | 配当金の総額 (千円) | 1株当たり 配当額(円) | 基準日 | 効力発生日 | 配当の原資 |
|----------------------|-------|----------------|-----------------|------------|------------|-------|
| 平成24年6月26日 定時株主総会 | 普通株式 | 91,047 | 15 | 平成24年3月31日 | 平成24年6月27日 | 利益剰余金 |
| 平成24年11月8日 取締役会 | 普通株式 | 91,047 | 15 | 平成24年9月30日 | 平成24年12月5日 | 利益剰余金 |

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

| | 報告セグメント | | | | 調整額 (注) 1 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2 |
|-----------------------|------------|---------------|-------------|------------|--------------|--------------------------------|
| | エネルギー | フード& ビバレッジ | ライフ スタイル | 計 | | |
| 売上高 | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 33,131,285 | 4,391,406 | 5,627,980 | 43,150,672 | | 43,150,672 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | 51,048 | 17,619 | 168,185 | 236,853 | 236,853 | |
| 計 | 33,182,333 | 4,409,025 | 5,796,166 | 43,387,526 | 236,853 | 43,150,672 |
| セグメント利益 | 530,237 | 397,398 | 134,801 | 1,062,436 | 593,706 | 468,730 |

(注) 1 セグメント利益の調整額 593,706千円には、セグメント間取引消去7,656千円、各報告セグメントに配分していない全社費用 601,362千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

| | 報告セグメント | | | | 調整額 (注) 1 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2 |
|-----------------------|------------|---------------|-------------|------------|--------------|--------------------------------|
| | エネルギー | フード& ビバレッジ | ライフ スタイル | 計 | | |
| 売上高 | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 34,564,439 | 4,204,886 | 5,501,533 | 44,270,858 | | 44,270,858 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | 39,615 | 19,682 | 130,679 | 189,977 | 189,977 | |
| 計 | 34,604,054 | 4,224,568 | 5,632,212 | 44,460,836 | 189,977 | 44,270,858 |
| セグメント利益 | 737,685 | 274,688 | 180,675 | 1,193,050 | 496,567 | 696,482 |

(注) 1 セグメント利益の調整額 496,567千円には、セグメント間取引消去9,452千円、各報告セグメントに配分していない全社費用 506,020千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更に記載のとおり、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更したため、報告セグメントの減価償却の方法を改正後の法人税法に基づく方法に変更しております。

なお、この変更に伴う影響は軽微であります。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

| 項目 | 前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日) |
|---------------------|--|--|
| 1株当たり四半期純利益金額 | 46円25銭 | 93円65銭 |
| (算定上の基礎) | | |
| 四半期純利益(千円) | 280,748 | 568,466 |
| 普通株主に帰属しない金額(千円) | | |
| 普通株式に係る四半期純利益金額(千円) | 280,748 | 568,466 |
| 普通株式の期中平均株式数(株) | 6,069,834 | 6,069,834 |

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

第57期(平成24年4月1日から平成25年3月31日まで)中間配当については、平成24年11月8日開催の取締役会において、平成24年9月30日の最終の株主名簿に記録された株主に対し、次のとおり中間配当を行うことを決議いたしました。

| | |
|--------------------|------------|
| 配当金の総額 | 91,047千円 |
| 1株当たりの金額 | 15円00銭 |
| 支払請求権の効力発生日及び支払開始日 | 平成24年12月5日 |

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年 2月12日

株式会社M i s u m i

取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 青野 弘 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 川 畑 秀 二 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社M i s u m iの平成24年4月1日から平成25年3月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間(平成24年10月1日から平成24年12月31日まで)及び第3四半期連結累計期間(平成24年4月1日から平成24年12月31日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社M i s u m i及び連結子会社の平成24年12月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。